

## 心搖るがす 日本講演新聞

本社 〒880-0911 宮崎県宮崎市田吉6207-3  
info@miya-chu.jp Tel(0985)53-2600 Fax(0985)53-5800  
毎週曜日(第5曜日除く)月4回発行  
【郵便振込口座】02060-3-7621 【銀行口座】宮崎銀行赤江支店(普)1336375  
紙版+Web版=お得な1,650円(税・送料込)/ひと月  
紙版のみ1,300円(税・送料込)/Web版のみ1,100円(税込)

関東・中部・関西および福岡県周辺の講演情報を募集しております

この日本講演新聞は見本紙(サンプル版)です。  
実際の紙面をご希望の方は1か月分(4回)を  
無料でお送りいたします。

みやざき中央新聞は2020年1月から日本講演新聞に名称を変更いたしました

# 日本講演新聞

ご購読見本紙  
サンプル版

発行 株式会社宮崎中央新聞社

NHKの朝ドラ『わろてんか』の主人公北村くんは、吉本興業の創業者・吉本せいがモデルだった。場面設定ではかなりフィクションが多かったが、大正12年に起きた関東大震災の時の吉本興業の支援はすごかつたそうだ。仕事を失った芸人をこぞって東京から大阪に招き、彼らに仕事を与えた。また、縁の薄かった東京の落語界の師匠たちへもお見舞いを届け、それが後に東京進出の足掛かりにもなった。

ドラマのテーマは一貫していた「人生はつらいことが多い」だ。だからこそ笑いが必要だ。『つらい時こそ笑いつらんや』というメッセージがあちこちに出てきた。おもしろおかしいから笑う。前半は、サバの刺身にあたつて死んだ喜六といふ若い男が、冥土に向かう道すがら知り合った。人生はつらいことが多い。だからこそ笑いが必要だ。『つらい時こそ笑いつらんや』というメッセージがあちこちに出てきた。おもしろおかしいから笑う。

魂の編集長 水谷謹人 もりひと  
オピニオンエッセイ  
サンプル版 社説

## つらいことが多いから笑いが生まれた

うのではなく、笑うことでつらく悲しい現実を吹き飛ばそうという意気込みがあつた。

そういうえば、落語には人の死がネタになつているものが少くはない。人の死を笑うなど不謹慎まりないが、それはある種、泣き笑い』でもいうのか、「最後はもう笑うしかない」という境地なのではないかと思う。

たとえば『地獄八景亡者戯』という落語がある。通して演じると優に1時間を超える長編

ショットで、『死んで死にまし

た』と言うと『サバ二十四、二

万4000円』と、こんな具合である。

後半では冥土の賑やかな街並みを通り抜けて閻魔大王に

謁見するのだが、その冥土の街並みの様子が面白い。

盛んで、『半死にタイガース』と『スター・ボーズ』が流行ったそ

うだ。また冥土でもプロ野球

『アーチャー』が『アーチャー』

『アーチャー』が『アーチャー』